

ボトックス外来

脳神経外科からのお知らせ

ボトックス外来のご案内

火～木曜日 8:30～ 脳神経外科外来

※予約外の方は 10 時までに受付をお願いします

顔や目のまわりがピクピク動く

顔面けいれんの症状はありませんか？



顔面けいれん(まぶたのピクピク)には

ボトックス注射(ボツリヌス療法)

があります。

日本脳神経外科学会専門医

医師からのメッセージ：脳神経外科 橋本 義弘

検査や治療法

顔面けいれんとは本人の意思によらず、顔の片側(眼や口が多い)が突然ピクピクしてしまう病気です。

主に顔面の動きを司る顔面神経のそばの血管があることが原因ですが、脳腫瘍などで症状がでることがあります。

短いピクつきが1日何回も起きたり、1日中ピクつきが持続する場合があります。

初めての場合や軽症の場合は経過を見ても良い疾患ですが、目がふさがったり、人前に出て顔が引きつるほどになると生活に支障をきたし、治療が必要となります。

顔面けいれんの症状

脳腫瘍などで症状がでることがあるため、まずはCT・MRIで脳と脳血管を検査します。

治療は内服加療、ボトックス注射をする方法、手術で顔面神経に接触している血管を離す方法があります。

当院ではCT・MRI検査後、内服治療(抗けいれん剤)を行い、効果が乏しければボトックス注射を行います。

ボツリヌスは筋肉の弛緩すなわち収縮させない効果により、顔のピクピクを止めます。ボトックス注射で効果がないと外科手術となります。

詳細は脳神経外科外来までお問い合わせください。